

Internal Use
Only !!

科学者京都会議
継続委員会 Xモ

12/5 ('67) ノースサイドホテル (京都)

a.m. 10:15 ~

(司会 豊田)

1. Pugwash と日本で開催する件
2. Pugwash Continuing Committee に日本から1人
3. 科学者京都会議 (1968) のテーマ, 参加者
4. 山田提案
5. 科学者京都会議の組織

(1) Pugwash と日本で開催する件

開催の要請があったが

- a) 開催の原則的問題 (Pug. 自身の評価, 日本で開催することの意義 etc.)
- b) 開催の時期 (日本の状況, 1970年問題 etc.)
- c) 参加人員, マスコミの制限の可能性 etc
- d) 金

等を中心に開催の可能性の検討をする。

(2) Pug. Cont. Comm. に日本で1人.

報告にもとずいて, 今後何らかの連絡があった時, 答を出せるよう検討してお願い。

(3) 科学者京都会議 (1968) のテーマ, 参加者 etc.

(4) 山田提案

a) テーマ

- i) 核兵器, 防衛問題 + 山田提案
- ii) 科学研究のありかた (生物・医学, 人文・社会 ---)
- iii) 南北問題 (後進国援助) ^{← BC-W}
etc.

b) 参加者

speaker :

- i) 豊田 + et al.
- ii) 江上 (or 代りの人) + et al
- iii) 人文・社会の人

participants :

- 大内, 我妻, 宮沢, 谷川, 田中, 末川, 南原
大佛, 大河内, 久野, 丸山, 坂本, 江口,
三宅, 田島, 福島, 野上, 佐々岡, 小谷,
有山, 江上, 桑原, 貝塚, 都留, 田畑, 松井

26名

+ 3継続委員

事務局: 牧, 高木, 豊田, 山田, 沢田, 小此木,
小沼, 小川(若), 安野,
亀岡,

~7-8名でやるだろう。

(5) 京都会議の財政に關連して

a) 科学を京都会議報告集の刊行 (巻致)

- i) 現在迄の論文 (世界 etc.)
- ii) 竹原会議のあとの広島市講演会

b) 講演会の企画

— 会議のあとすぐ 最後の日の夜

(6) タイム・スケジュール

本会議 : 6月中旬まで 於東京・学士会館 (3~4日間)

準備打合せの全統委 : 2~3月 運営委の時

participants の決定 : 3月末迄に

speakers " " : 2月 " "

— 以上